

オンデマンド授業実施に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド授業	対面授業	オンライン	予定していた成績評価方法	オンデマンド授業に伴う成績評価方法(変更後)	備考
1	前期	必修	1	アカデミックスキル	大桃・井上晴嗣・宮崎・佐藤卓史・竹本・長谷井・河合・倉田	○	○	○	各講に提出を求めるワークシート・振り返りシートの内容(30%)、提出課題(レポートおよびレジュメ)の内容(30%)、グループワークのピア評価(10%)、プレゼンテーションのピア評価(10%)、プレゼンテーションの教員評価(20%)により評価する。	変更なし	オンデマンド2コマ、対面4コマ、オンライン2コマ
1	後期	選択	1	社会分析の基礎(教養)	* 銭廣	○			毎講義後提出のコメントシートの記述10%、期末レポート90%	変更なし	
1	後期	選択	1	人間と宗教(教養)	* 鶴	○			1) 「定期課題」(授業期間中:適宜5回):50% 2) 「期末レポート」(授業終了後:1回):50% ※初回授業で詳しく説明するので、必ず出席すること。欠席した場合は、次回授業時に講師に申し出ること。	1) 「定期課題」(授業期間中:4回):40% 2) 「期末課題」(授業終了後:1回):60%	
1	後期	選択	1	文化人類学(教養)	* 中本	○			講義での姿勢およびリアクション・ペーパーの評価(50%)、定期試験の結果(50%)	8回の各講義にて提示する小課題(40%)、期末レポート(60%)	
1	後期	選択	1	倫理と社会(教養)	阪本	○			・ 授業への参加態度(アクティブ・ラーニングに積極的に取り組む姿勢、課題小論文)…50% ・ 授業内試験(論述式)…50%	毎回の授業の課題(60%)、最終回の授業の課題(40%)	
1	後期	選択	1	コーチング論(教養)	当麻	○			授業内で提出するレポート(60%)、小テスト2回実施(40%)	レポート課題(100%)	
1	後期	選択	1	スポーツ・運動実習2(教養)	当麻	○			身体活動量の確保、技能の向上(50%)、コミュニケーションの度合い、マナー、礼節の実践(50%)	レポート課題(100%)	
1	後期	選択	1	数理論理学(教養)	永田	○			リアクション・ペーパー50%と小テスト(1回)50%を用いて総合的に評価します。	課題50%と期末レポート50%で評価する。	
1	後期	必修	1	数学2(永田クラス)	永田	○			課題(レポート、リアクション・ペーパー)20%と小テスト(1回)及び期末試験80%を用いて総合的に評価します。	課題20%と定期試験80%で評価する。	
1	後期	必修	1	数学2(竹本クラス)	竹本	○			定期試験結果(80%)と小テスト2回(20%)により評価する。	定期試験結果(60%)と8回の講義で提示するレポート(40%)により評価する。	オンライン試験の場合には、オンライン試験40%レポート60%で評価する。
1	後期	必修	1	物理学2	竹本	○			定期試験結果(80%)とレポート2回(20%)により評価する。	定期試験結果(60%)と8回の講義で提示するレポート(40%)により評価する。	オンライン試験の場合には、オンライン試験40%レポート60%で評価する。
1	後期	必修	1	英語リスニング2(スミスクラス)	スミス	○			課題:リスニングの記録(20%)、語彙小テスト(30%)、発表(10%)、試験(40%)	専門用語の小テスト(40%)、教科書各ユニットの課題(40%)、専門用語発音の課題(20%)	
1	後期	必修	1	英語リスニング2(田邊クラス)	田邊	○			小テスト結果(60%)と発表・積極的な発言(40%)により評価する。	課題100%	
1	後期	必修	1	英語リスニング2(神前クラス)	* 神前	○			期末テスト60%、平常点40%(12回の授業におけるグループ発表回数20%、12回の授業で実施する専門用語小テスト20%)	期末テスト50%、平常点50%(提出課題25%、8回の授業で実施する学術用語小テスト25%)	
1	後期	必修	1	英語リスニング2(武井クラス)	* 武井	○			授業内試験(60%)、授業への積極的な参加(10%)、小テスト(10回)(30%)	試験100%に変更する。	
1	後期	必修	1	英語リーディング2(楠瀬クラス)	楠瀬	○			定期試験80%と小テスト20%により評価する。	毎回の課題10点x8回と最終課題20点で評価します。	

オンデマンド授業実施に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド授業	対面授業	オンライン	予定していた成績評価方法	オンデマンド授業に伴う成績評価方法(変更後)	備考
1	後期	必修	1	英語リーディング2(井上クラス)	*井上彦子	○			定期試験結果(60%)授業貢献度(小テスト、予習、発表状況など)(40%)	定期試験を実施せず、すべて課題(100%)で評価します。	
1	後期	必修	1	英語リーディング2(大神クラス)	*大神	○			期末試験(試験期間に行うペーパーテストの結果):60% 授業活動(予習・復習と授業活動への取り組み状況の評価):20% 復習テスト(毎回の授業時に行う復習・確認テストの結果):20%	受講・課題 50% 期末試験(オンデマンド配信・回収の予定) 50%	
1	後期	必修	1	英語リーディング2(藤本クラス)	*藤本幸治	○			小テスト30%、レポート30%、まとめの演習テスト40%	変更なし	
1	後期	選択必修	1	ドイツ語2	阪本	○			・授業への参加態度(アクティブ・ラーニングに積極的に取り組む姿勢、宿題の提出、小テスト)…40% ・授業内試験(筆記、音読)…60%	毎回の授業の課題(60%)、最終回の授業の課題(40%)	
1	後期	選択必修	1	フランス語2	*沼田	○			授業内期末試験50%、プレゼン・課題50%	毎週の授業課題 60% 学期末課題 40%	
1	後期	選択必修	1	中国語2	*陳	○			授業内期末試験結果(40%)、小テスト(20%)、授業への参加度*(40%)により評価する。 *グループワークにおいて、グループの一員としてアクティビティに参加しているか。また発話の順番がまわってきた際に、積極的に発話しているか。	課題(小テスト形式を含み)60%、期末授業内試験40%	
1	後期	選択必修	1	ハンブル2	*李	○			期末試験50%、課題50%	課題70%、平常点10%、期末試験20%	
1	後期	選択	1	情報科学	*林武文・*下川・*土井麻理子		○		各担当者が、それぞれの持ち分で100点満点の評価を行う。最終評価は、担当時間数の荷重平均(100点満点)とする。 ・下川： 毎回レポートを課す。比率は、1回目：50%、2回目：50%。 ・谷岡：毎回レポートを課す。比率は、1回目：50%、2回目：50%。 ・土井：毎回小テストを実施(2回実施)する。小テスト1回目：50%、小テスト2回目：50%。 ・林：毎回授業中に小テストを行う。比率は全て同じで、7回の合計を100点とする。	各担当者が、それぞれの持ち分で100点満点の評価を行う。最終評価は、担当時間数の荷重平均(100点満点)とする。 ・下川：第1・2回および第3・4回でそれぞれレポートを課す。比率は、1回目：50%、2回目：50%。 ・土井：毎回小テストを実施(2回実施)する。小テスト1回目：50%、小テスト2回目：50%。 ・林：毎回小テストを実施(2回実施)する。小テスト1回目：50%、小テスト2回目：50%。	
1	後期	必修	1.5	基礎細胞生物学	坂口	○	○		定期試験成績(100%)により評価する。	オンデマンド授業の課題(Forms)と対面授業での確認テスト(全12回の結果)(30%)と定期試験結果(70%)により評価する。	オンデマンド8コマ、対面4コマ
1	後期	必修	1.5	有機化学1	和田俊一・浦田・宇佐美・平野・山田・米山・菊地・平田佳之・林淳祐・葉山	○			定期試験(90%)と小テスト(10%)により評価する。	定期試験(80%)と課題の提出(20%)により評価する。	
1	後期	必修	1.5	物理化学1	土井光暢	○			定期試験(100%)により評価する。	変更なし	
1	後期	必修	1.5	分析化学1	天満	○			定期試験結果(90%)と小テスト(10%)により評価する。	定期試験(60%)と毎回の課題(40%)により評価する。	

オンデマンド授業実施に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド授業	対面授業	オンライン	予定していた成績評価方法	オンデマンド授業に伴う成績評価方法(変更後)	備考
1	後期	必修	1.5	生化学1	藤井	○	○		定期試験により評価する(100%)。	変更なし	オンデマンド8コマ、対面4コマ
1	後期	必修	1.5	機能形態学1	大野・藤森	○			定期試験結果(100%)により評価する。	定期試験:88%、授業の課題演習:12%	
1	後期	必修	1.5	薬用天然物化学	谷口	○	○		定期試験結果(90%)とレポート(10%)により評価する。ただし、評価を受けるには定期試験の得点が60%以上であることが必修です。	定期試験結果(90%)と復習課題(10%)により評価する。ただし、評価を受けるには定期試験の得点が60%以上であることが必修です。	オンデマンド8コマ、対面4コマ
1	後期	選択	1	生命誌	3大学連携	○			講義および見学実習の出席状況、毎回の講義および生命誌研究館での見学実習で課す提出物(レポート)の内容で評価する。	変更なし	
1	後期	選択	1	福祉工学概論	3大学連携	○			講義期間中に提出する十字モデルやレポートなど(100%)で総合的に評価する。	変更なし	
1	通年	必修	1	早期体験学習1	戸塚(早期体験学習委員長)・中村敏明・井上薫・芝野・幸田・角山・加藤隆児・浅野・藤嶽・羽田・田中早織	○	—		講義に関連したレポート等の提出状況40%、提出物の内容60%(臨床準備教育のルーブリック評価を含む)で評価する。	講義および課題に関連したレポートの提出状況100%	
1	後期	必修	0.5	早期体験学習2	松村人志・林哲也・中村敏明・福森・井尻・幸田・角山・加藤隆児・山口・田中早織	○	○		ローテーションで参加したテーマ毎に、担当した各教員が評価します。評価の仕方は班によって若干異なります。第1班は実習内容の理解度を、実習中に小テストを含む小レポートにて評価・採点し、その場でフィードバックします。第2班は小テストあるいは小レポートを提出してもらい、その場で採点・評価し、フィードバックします。第3班はテスト問題を含む小レポートに記載してもらい、形成的に評価・採点して後日返却します。第4班は小レポートで評価・採点し、レポートは後日返却します。これらの各班の点数を合計して最終的な評価点とします(各班の評価25%、計100%)。定期試験は行いませんので、欠席された場合は、別の機会に欠席したテーマのみ受講して頂きますが、受講に欠落が生じた場合には、原則として、単位を認めることができません。	ローテーションで参加したテーマ毎に、担当した各教員が評価します。評価の仕方は班によって若干異なります。第1班は実習内容の理解度を、実習中に小テストを含むレポートにて評価・採点し、その場でフィードバックします。第2班は小テストあるいは小レポートを提出してもらい、その場で採点・評価し、フィードバックします。第3班はFormsを用いて、実習内容の理解度を評価・採点します。第4班はFormsを用いて、小テストあるいは小レポートで評価・採点し、後日フィードバックします。これらの各班の点数を合計して最終的な評価点とします(各班の評価25%、計100%)。定期試験は行いませんので、欠席された場合は、別の機会に欠席したテーマのみ受講して頂きます。受講に欠落が生じたままでは、原則として、単位を認めることができません。	一部オンデマンド方式の授業を取り入れて実施
1	後期	必修	1	基礎有機化学実習	宇佐美・平野・山田・菊地・林享祐	○	○		全8回の実習を出席した上で、平常点(30%)、レポート(30%)、筆記試験(40%)の割合で評価し、60%以上の者を合格とする。平常点は、担当教員が実験および講義時の態度、出席(減点方式)、遅刻(減点方式)、掃除担当時の行動を見て採点する。ただし、筆記試験およびレポートに関しては各配点率の6割をそれぞれの合格基準とし、それに満たない場合は再試験およびレポートの再提出を課す。	変更なし	一部オンデマンド方式の授業を取り入れて実施

オンデマンド授業実施に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド 授業	対面授業	オンライン	予定していた 成績評価方法	オンデマンド授業に伴う 成績評価方法（変更後）	備考
2	後期	選択	1	社会分析の基礎（教養）	* 銭廣	○			毎講義後提出のコメントシートの記述10%、期末レポート90%	変更なし	
2	後期	選択	1	人間と宗教（教養）	* 鶴	○			1) 「定期課題」（授業期間中：適宜5回）：50% 2) 「期末レポート」（授業終了後：1回）：50% ※初回授業で詳しく説明するので、必ず出席すること。欠席した場合は、次回授業時に講師に申し出ること。	1) 「定期課題」（授業期間中：4回）：40% 2) 「期末課題」（授業終了後：1回）：60%	
2	後期	選択	1	文化人類学（教養）	* 中本	○			講義での姿勢およびリアクション・ペーパーの評価（50%）、定期試験の結果（50%）	8回の各講義にて提示する小課題（40%）、期末レポート（60%）	
2	後期	選択	1	倫理と社会（教養）	阪本	○			・ 授業への参加態度（アクティブ・ラーニングに積極的に取り組む姿勢、課題小論文）…50% ・ 授業内試験（論述式）…50%	毎回の授業の課題（60%）、最終回の授業の課題（40%）	
2	後期	選択	1	コーチング論（教養）	当麻	○			授業内で提出するレポート（60%）、小テスト2回実施（40%）	レポート課題（100%）	
2	後期	選択	1	スポーツ・運動実習2（教養）	当麻	○			身体活動量の確保、技能の向上（50%）、コミュニケーションの度合い、マナー、礼節の実践（50%）	レポート課題（100%）	
1	後期	選択	1	数理論理学（教養）	永田	○			リアクション・ペーパー50%と小テスト(1回)50%を用いて総合的に評価します。	課題50%と期末レポート50%で評価する。	
2	後期	必修	1	英語スピーキング2（スミスクラス）	スミス	○			課題（20%）、スピーキングテスト2回（20%）、語彙小テスト（30%）、筆記テスト2回（30%）	専門用語の小テスト（40%）、教科書各ユニットの課題（40%）、スピーキング課題1回(20%)	
2	後期	必修	1	英語スピーキング2（Guardクラス）	* Guard	○			1. In-class tests 20% 2. Class participation（授業中の積極性）20% 3. Final examination 20% 4. Writing and speaking assignments 40%	1. Lesson answers 40% 2. Essays 30% 3. Final examination 30%	
2	後期	必修	1	英語スピーキング2（Brothertonクラス）	* Brotherton	○			Evaluation will be in the form of attendance(25%), preparation given as homework(25%), assignments(25%) and class presentations(25%).(=100%)	変更なし	
2	後期	必修	1	英語スピーキング2（佐藤クラス）	* 佐藤真奈美	○			毎回の課題と授業での取組（20%）、スピーキングテスト2回（20%）、医療・薬学用語筆記テスト3回（30%）、前半・後半まとめの筆記テスト2回（30%）	■ 教科書各ユニットの課題（40%） ■ まとめ小テスト2回(30%) ■ スピーキング課題2回(30%)	
2	後期	必修	1	英語ライティング2（田邊クラス）	田邊	○			期末試験結果（60%）と発表・積極的な発言（40%）により評価する。	課題100%	
2	後期	必修	1	英語ライティング2（Guardクラス）	* Guard	○			1.Vocabulary assessments 10% 2.Final examination 40% 3.Writing assignments 50%	オンデマンド授業に対して毎回課題を提供してその答えを添削します。その答えが成績の70%を占める。3週間ごとに語彙テストを行います。そのテストが30%を占める。	
2	後期	必修	1	英語ライティング2（堀クラス）	* 堀	○			小テスト（前週学習内容の確認小テスト9回、前・後半のまとめ小テスト各1回の合計11回）50%、定期試験30%、学習ポートフォリオシートへの授業で学習したことの記入状況20%	授業(配信動画)内容に付随する毎回の課題50%、期末課題50%	

オンデマンド授業実施に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド授業	対面授業	オンライン	予定していた成績評価方法	オンデマンド授業に伴う成績評価方法(変更後)	備考
2	後期	必修	1	英語ライティング2(氏木クラス)	*氏木	○			定期試験70%平常点30%(課題と小テスト)	定期試験なし 小さな課題30% 大きなライティングの課題 中間30% 期末40%	
2	後期	必修	1.5	心理社会	*川端	○			定期試験結果70%、小テスト30%で評価する。	平常点(課題提出)40%、期末レポート60%	
2	後期	必修	1.5	有機化学3	浦田・宇佐美・平野・山田・和田俊一・米山・菊地・平田佳之・林淳祐・葉山	○			定期試験結果(90%)および演習時の小テスト(10%)により評価します。	変更なし	
2	後期	必修	1.5	有機スペクトル学演習	山田・浦田・宇佐美・平野・和田俊一・米山・菊地・平田佳之・林淳祐・葉山	○	○		定期試験の正答率が60%以上のものについて定期試験(90%)、演習問題(10%)の割合で評価する。	変更なし	オンデマンド11コマ、対面1コマ
2	後期	必修	1.5	物理化学3	友尾・尹	○			定期試験(100%)の成績により評価する。	定期試験(70%)、課題提出(30%)とする。	
2	後期	必修	1.5	生化学3	福永	○	○		定期試験の成績(Y)は、試験の点数(X:100点満点)と、各回の復習課題の評価点の総計(A=0-12)を以下の式で加算した合計を四捨五入した整数とする。ただし、再試験では復習課題の加算は行わない。 $Y=X+A(100-X)/100$ (各評価の寄与率:試験100-94%、課題評価点0-6%)	定期試験80%、課題20%により評価する。	オンデマンド8コマ、対面4コマ
2	後期	必修	1.5	衛生薬学1	佐久間・長谷井	○	○		定期試験80%、ならびに2~3回のレポート20%により評価する。	定期試験80%、ならびに講義中の課題20%により評価する。	オンデマンド8コマ、対面4コマ
2	後期	必修	1.5	分子細胞生物学	福永	○	○		定期試験の成績(Y)は、試験の点数(X:100点満点)と、各回の復習課題の評価点の総計(A=0-2)を以下の式で加算した合計を四捨五入した整数とする。ただし、再試験では復習課題の加算は行わない。 $Y=X+A(100-X)/100$ (各評価の寄与率:試験100-94%、課題評価点0-6%)	定期試験80%、課題20%により評価する。	オンデマンド8コマ、対面4コマ
2	後期	選択	1	専門職連携医療論	中村敏明・角山	○		○	課題の提出状況・内容30%、6、7回目のグループディスカッションの取り組み姿勢30%、8回目の発表プロダクト20%、最終回のレポート20%により評価する。6、7回目のグループディスカッションでは、3学部共通の評価表を用いる。	1~3回目の質問の提出状況15%、4・5回目の「学びと感想(小レポート)」の提出状況・内容30%、6・7回目のグループディスカッションの取り組み姿勢10%、6・7回目の発表のまとめの内容15%、8回目の最終課題レポートの提出状況・内容30%により評価する。6・7回目のグループディスカッションでは、3学部共通の評価表を用いる。	オンデマンド6コマ、オンライン2コマ
2	後期	必修	1.5	病態生化学	藤森	○	○		定期試験結果(100%)により評価する。	変更なし	オンデマンド8コマ、対面4コマ
2	後期	必修	1.5	薬理学2	大喜多	○			定期試験の成績により評価する(100%)。	変更なし	
2	後期	必修	1.5	生物薬剤学1	永井	○			定期試験結果(100%)により評価する。	各オンデマンド授業後に提出する課題(20%)と定期試験(80%)により評価する。	
2	後期	必修	1.5	薬物治療学2	加藤隆児・松村人志・山口	○			定期試験(100%)の結果により評価する。	授業後に行う小テストの結果により評価する(100%)。	
2	後期	選択	1	生命誌	3大学連携	○			講義および見学実習の出席状況、毎回の講義および生命誌研究館での見学実習で課す提出物(レポート)の内容で評価する。	変更なし	

オンデマンド授業実施に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド授業	対面授業	オンライン	予定していた成績評価方法	オンデマンド授業に伴う成績評価方法(変更後)	備考
2	後期	選択	1	福祉工学概論	3大学連携	○			講義期間中に提出する十字モデルやレポートなど(100%)で総合的に評価する。	変更なし	
2	後期	必修	0.5	漢方・生薬学実習	谷口雅彦・芝野・平田佳之	○	○		実習試験の得点が60%以上、および鑑定試験の完答が8問中5問以上の者に対して、実習試験(50%)、鑑定試験(30%)およびレポート(20%)で評価する。	変更なし	一部オンデマンド方式の授業を取り入れて実施
2	後期	必修	1	物理・放射化学実習	友尾・尹・平田雅彦・山沖	○	○		学習内容の理解度、実習に対する積極性、実習後に提出するレポートの内容および実習終了後に行う実習試験の成績などによって総合的に評価する。各評価の寄与率は以下の通りとする。出席:10%、レポート:40%、筆記試験:50%	現段階では変更なしとするが、状況によっていずれの試験も実施できない場合は、レポートの寄与率を上げて対応する。	一部オンデマンド方式の授業を取り入れて実施

オンデマンド授業実施に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド授業	対面授業	オンライン	予定していた成績評価方法	オンデマンド授業に伴う成績評価方法(変更後)	備考
3	後期	必修	1	異文化言語演習2(楠瀬クラス)	楠瀬	○			受講時の発表など講義への貢献(60%)とレポート提出2回(40%)により評価する。	毎回の課題10点x8回と最終課題20点で評価します。	
3	後期	必修	1	異文化言語演習2(城下クラス)	城下	○			発表内容=60%【訳出】、演習へのコミットメント=40%【短文論述】。訳出・短文論述のいずれもその都度コメントして必要に応じて修正を求め、基準を満たせる内容になるよう指導する。	変更なし	
3	後期	必修	1	異文化言語演習2(田邊クラス)	田邊	○			小テスト結果(60%)と発表・ディスカッション・積極的な発言(40%)により評価する。	課題100%	
3	後期	必修	1	異文化言語演習2(中村クラス)	*中村恵	○			授業への積極的関与度(十分な予習をしているか否か、正しく訳せるか否か)20%、複数回の小テストと小レポート30%、期末に提出するレポート50%で、総合的に評価する。	毎回提出の課題をもとに授業の理解度を測り、成績評価を行う(100%)。	
3	後期	必修	1	異文化言語演習2(榎矢Aクラス)	*榎矢	○			授業での発表(70%)、授業への取り組み(予習や取り組みの積極性)(30%)を元に総合的に評価する。	変更なし	
3	後期	必修	1	異文化言語演習2(榎矢Bクラス)	*榎矢	○			授業での発表(70%)、授業への取り組み(予習や取り組みの積極性)(30%)を元に総合的に評価する。	変更なし	
3	後期	必修	1	異文化言語演習2(伊藤クラス)	*伊藤	○			定期試験(60%)、プリント等の提出物および授業態度(40%)により評価する。	最終週に予定していた「授業内試験」は実施困難な為、課題提出等による成績評価に変更します(100%)。	
3	後期	必修	1	異文化言語演習2(衛藤クラス)	*衛藤	○			小テスト30%、レポート30%、まとめの総合演習テスト40%	レポート80%、まとめの演習課題20%	
3	後期	必修	1	異文化言語演習2(鶴クラス)	*鶴	○			講義回数の2/3以上の出席を条件とし、授業での発表(50%)と課題提出状況(50%)により評価を行う。	課題提出状況(100%)により評価を行う。	
3	後期	必修	1	異文化言語演習2(木村クラス)	*木村	○			発表内容...60%【提出課題の内容】、演習へのコミットメント=40%【訳出その他】欠席は正当な理由のある、事前・事後の申し出のあったもののみ認める。	例年、受講者全員に担当を割り当てて、割り当てられた英文の和訳・要約・問題文から数題選択して回答すること、それを授業内で発表することで課題としています。オンデマンド授業により、同様の内容の授業が困難ですので、毎週講義内で提出する課題(100%)により成績評価を行います。毎回の課題は、少し多くなりますが、それによってレポートなどの最終課題に変えたいと思います。つまり、毎週の課題が平常点とレポートを兼ねていると考えてください。	
3	後期	必修	1	医療統計学	細畑	○			100%定期試験により評価する。	変更なし	
3	後期	必修	1.5	衛生薬学4	奥平・長谷井・*中野	○	○		定期試験100%で評価する。	変更なし	オンデマンド11コマ、対面1コマ
3	後期	選択	1	応用放射化学	大桃	○			定期試験結果(100%)により評価する。	変更なし	
3	後期	選択	1	精密有機合成化学	宇佐美	○			定期試験の成績:90%、レポート点10%で評価する。	定期試験の成績:90%、レポート点10%で評価する。レポートは各講義ごとに出される課題をもって代替えとする。	

オンデマンド授業実施に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド授業	対面授業	オンライン	予定していた成績評価方法	オンデマンド授業に伴う成績評価方法(変更後)	備考
3	後期	必修	1.5	医薬品化学1	平野	○	○		定期試験90%、講義中の小テスト10%で評価する。	定期試験90%、各回の課題10%で評価する。	オンデマンド7コマ、対面5コマ。対面の回に関しても、登校できない学生のためにオンデマンドの動画配信は行います。
3	後期	必修	1.5	薬理学4	大喜多	○			定期試験の成績により評価する(100%)	変更なし	
3	後期	必修	1.5	製剤学	戸塚・門田	○			最低限の出席(全授業の2/3以上)は試験を受ける上で必修。定期試験により評価を行う(100%)。	定期試験結果(75%)と12回の講義で提示する課題(25%)により評価する。	
3	後期	必修	1.5	薬物動態解析学	宮崎	○			定期試験の結果より評価する(100%)。	変更なし	
3	後期	必修	1.5	薬物治療学4	幸田・駒野・井尻・内田	○			定期試験結果(100%)により評価する。	オンデマンド授業(合計12回)では、各回に提出課題(合計12回)があります。成績は各回の提出課題を採点し、その合計点で評価します(100%)。	
3	後期	必修	1	医療と法	城下	○			定期試験による評価(70%)と講義中の小テスト(確認用紙として配布、30%)の評価を合算して最終的な評価とする。細かな内訳は講義中に示す。小テストには授業への質問・意見を含み、基本的に毎回の授業で、前回の質問・意見についてリプライする。	変更なし	
3	後期	選択	1	臨床化学	山口	○			講義終了後の確認小テスト10回の成績を加味し総合評価します(100%)。	オンデマンド授業(合計8回)では、各回に提出課題(合計8回)があります。成績は各回の提出課題を採点し、その合計点で評価します(100%)。	
3	後期	選択	1	臨床生理学	*藤岡・*和田晋一	○			授業時間内に実施する計測技術演習(70%)と小テスト(30%)により評価します。	オンデマンド授業(合計8回)では、各回に提出課題(合計8回)があります。成績は各回の提出課題を採点し、その合計点で評価します(100%)。	
3	後期	必修	1	衛生薬学実習	奥平・佐久間・長谷井・東・小池	○	○		実習レポート40%、筆記試験40%、ならびに5回の討議20%により評価する。	実習レポート100%で評価する。	一部オンデマンド方式の授業を取り入れて実施
3	後期	必修	1	薬理学実習	大野・大喜多・河合・清水・國澤	○	○		3分の2以上の出席を満たした上で、筆記試験、レポート、実習態度・意欲で評価する。ただし、①筆記試験(50%)、②レポートと実習態度・意欲(50%)の合格基準は各配点率の6割とする。	変更なし	一部オンデマンド方式の授業を取り入れて実施
3	後期	必修	1	薬剤学実習	戸塚・永井・宮崎・門田・本橋・内山・竹林	○	○		実習試験(30%)レポート(70%)。欠席・遅刻は原則認めないこととし、下記の全ての回(計8回)に出席することが成績評価を行う上での前提条件とする。レポートの提出期限は厳守すること。	実習レポート100%で評価する。	一部オンデマンド方式の授業を取り入れて実施

オンデマンド授業実施に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド授業	対面授業	オンライン	予定していた成績評価方法	オンデマンド授業に伴う成績評価方法(変更後)	備考
4	前期	選択	1	病態・薬物治療学演習(薬学科)	松村人志・林哲也・駒野・福森・井尻・幸田・細畑・加藤隆児・山口・内田	○	○	○	各グループ内でのSGDにおいて、担当教員が、学生ごと、及び、グループごとに評価する。また、班内でのグループ間ディスカッションについても、班内の教員で評価する。さらに最後の3回は全員が集合して、グループごとにプレゼンテーションを行うが、参加した各教員が、各グループに評価点を付け、平均値を出す。班内での個人に対する評価点(30点満点)、班内でのグループに対する評価点(30点満点)、全体会でのグループに対する評価平均点(40点満点)の総計を各学生の評価点とする。各教員が行う班内・グループ内での評価の点数に関しては、それぞれの班及びグループの間で不平等が生じないよう、教員間で申し合わせることにし、必要があれば標準化する。	各グループ内でのSGDにおいて、担当教員が、当該のグループに対する評価点に加えて、学生ごとに評価する。さらに最後の3回は全員が集合して、グループごとにプレゼンテーションを行うが、参加した各教員が、各グループに評価点を付け、平均値を出す。SGDでの個人に対する評価点(30点満点)、グループに対する評価点(30点満点)、全体会でのグループに対する評価平均点(40点満点)の総計を各学生の評価点とする。各教員が個別に行うグループ及び個人に対する評価点に関しては、グループ間に不平等が生じないよう、教員間で評価基準を申し合わせることにする。	オンデマンド3コマ、対面3コマ、オンライン2コマ
4	後期	必修	1	医薬品化学2(薬学科)	平野	○	○		定期試験90%、講義中の小テスト10%で評価する。	定期試験90%、各回の課題10%で評価する。	オンデマンド4コマ、対面4コマ
4	後期	選択	1	アドバンスト薬物治療学1(薬学科)	松村人志・林哲也・駒野・福森・井尻・幸田・加藤隆児・山口・*島本	○			各講義の最後に小テスト(10回、各10%、計100%)を行う。全ての講義でのこの小テストの点数を加算して、評価点を出す。	各オンデマンド授業の最後に、Formsを用いた小テストを行う(計8回)。各小テストの点数を平均して評価点とする。	
4	後期	必修	1	個別化医療(薬学科)	井尻・細畑・加藤隆児	○			定期試験(100%)にて評価する。	オンデマンド授業(合計8回)では、各回に提出課題(合計8回)があります。成績は各回の提出課題を採点し、その合計点で評価します(100%)。	
4	後期	必修	1.5	コミュニティファーマシー(薬学科)	恩田	○			定期試験結果(80%)と各講義終了時に行う確認テスト(20%)により評価する。	変更なし	
4	後期	必修	1	医薬品安全性学(薬学科)	河合	○			定期試験80%および小テスト(講義2回につき1回実施する)20%により評価する。	授業課題60%および期末課題40%により評価する。	
4	後期	必修	1.5	制度経済(薬学科)	城下	○			定期試験による評価(70%)と講義中の小テスト(確認用紙として配布、30%)の評価を合算して最終的な評価とする。細かな内訳は講義中に示す。小テストには授業への質問・意見を含み、基本的に毎回の授業で、前回の質問・意見についてリプライする。	変更なし	
4	後期	必修	0.5	薬学基礎演習(薬学科)	大桃(CBT対策委員長)	○	○		演習試験の成績などを総合的に評価します。具体的な評価の方法は開講時に薬学基礎演習ガイダンスで説明します。変更がある場合も、ガイダンスで説明します。	変更なし	
4	後期	選択	1	臨床化学(薬学科)	山口	○			講義終了後の確認小テスト10回の成績を加味し総合評価します(100%)。	オンデマンド授業(合計8回)では、各回に提出課題(合計8回)があります。成績は各回の提出課題を採点し、その合計点で評価します(100%)。	
4	後期	選択	1	臨床生理学(薬学科)	*藤岡・*和田晋一	○			授業時間内に実施する計測技術演習(70%)と小テスト(30%)により評価します。	オンデマンド授業(合計8回)では、各回に提出課題(合計8回)があります。成績は各回の提出課題を採点し、その合計点で評価します(100%)。	
4	後期	必修	1	臨床導入学習2(薬学科)	井上薫・恩田光子・金・小森・岩永・中村任・中村敏明・神林・和田恭一・角山・細畑・内田・羽田・庄司	○	○		実習評価表に基づいた評価(50%)、実習態度(40%)、小テスト(10%)の割合で評価する。	変更なし(オンデマンド以外に対面実習も行い評価するため)。	一部オンデマンド方式の授業を取り入れて実施
4	後期	必修	6	特別演習・実習(後期)(薬科学科)		○	○	○	研究態度、研究課題発表と質疑応答などから総合的に評価する。	変更なし	セミナー等でオンライン方式を取り入れる

オンデマンド授業実施に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド 授業	対面授業	オンライン	予定していた 成績評価方法	オンデマンド授業に伴う 成績評価方法（変更後）	備考
4	通年	必修	18	特別演習・実習（薬学科）		○	○	○	研究活動の中で様々な「技能」を身につけながら、得られた成果のまとめとして「研究発表」の実施と「卒業論文」の作成を行う。評価項目として、研究活動に対する「態度」、この間に身につけた「知識・技能」、さらに「研究発表」および「卒業論文」を評価する。各評価項目について、それぞれ別に定めた5つの評価細目を5段階で評価する。「態度」、「技能」の評価項目では、評価が1点の細目がそれぞれ2つ以下であること、および、「研究発表」、「卒業論文」については、1点の評価の細目数が2名の教員の合計で4つ以下であること、を合格基準とする。	変更なし	セミナー等でオンライン方式を取り入れる

オンデマンド授業実施に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド授業	対面授業	オンライン	予定していた成績評価方法	オンデマンド授業に伴う成績評価方法(変更後)	備考
5	通年	必修	10	病院実務実習	中村敏明・中村任・恩田・金・小森・井上薫・神林・和田恭一・角山・加藤隆児・羽田		○		I.概略評価 指導薬剤師と実習生が、定期的(2~4週間毎を目安)に、概略評価表を基に評価を行い、実習の振り返りを行うことで実習生がどの程度、何が成長したかを評価する。 II.実務実習記録(日誌・レポート)による評価 実習生は、毎日の日誌に自分がその日学習した内容、体験した事例、修得した能力等を簡潔に記録して指導薬剤師、教員等の指導者に提示する。指導者は、その日誌の報告が実習生の実習の進捗状況を確認するとともに、実習についてフィードバックを行う。実習生は、指導者のアドバイスを受けて薬剤師として求められる臨床能力の成長を確認する。 III.合否に関わる成績の決定 大学では、実務実習記録による評価50%、学生との懇談内容10%、指導薬剤師による評価30%、学生のルーブリック10%という割合で、総合評価を行う。	変更なし	
5	通年	必修	10	薬局実務実習	中村敏明・中村任・恩田・金・小森・井上薫・神林・和田恭一・角山・加藤隆児・羽田		○		I.概略評価 指導薬剤師と実習生が、定期的(2~4週間毎を目安)に、概略評価表を基に評価を行い、実習の振り返りを行うことで実習生がどの程度、何が成長したかを評価する。 II.実務実習(日誌・レポート)による評価 実習生は自分がその日学習した内容、体験した事例、修得した能力等を実務実習記録(日誌・レポート)に毎日簡潔に記録し、指導薬剤師及び教員等の指導者に提示する。指導者は、提出された当該記録の内容などに基づき、実習の進捗状況を確認するとともに、適宜フィードバックを行う。実習生は、指導者からのアドバイスを受けて薬剤師として求められる臨床能力を自覚し、自己成長の度合いを省察する。 III.合否に関わる成績の決定 大学では、実務実習記録による評価50%、学生との懇談内容10%、指導薬剤師による評価30%、学生のルーブリック10%という割合で、総合評価を行う。	変更なし	
5	通年	必修	18	特別演習・実習		○	○	○	研究活動の中で様々な「技能」を身につけながら、得られた成果のまとめとして「研究発表」の実施と「卒業論文」の作成を行う。評価項目として、研究活動に対する「態度」、この間に身につけた「知識・技能」、さらに「研究発表」および「卒業論文」を評価する。各評価項目について、それぞれ別に定めた5つの評価細目を5段階で評価する。「態度」、「技能」の評価項目では、評価が1点の細目がそれぞれ2つ以下であること、および、「研究発表」、「卒業論文」については、1点の評価の細目数が2名の教員の合計で4つ以下であること、を合格基準とする。	変更なし	セミナー等でオンライン方式を取り入れる
6	通年	必修	3	薬学総合演習	大喜多(薬剤師国家試験対策委員長)	○	○		正規試験の結果に基づいて評価を行う(100%)。講義、補講、薬学総合演習総合試験への出席状況のチェックは厳格に行い、出席状況により正規試験の受験が認められないことがある。	変更なし	

オンデマンド授業実施に伴う成績評価方法

平成29年度以前入学生 時間外科目

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド授業	対面授業	オンライン	予定していた 成績評価方法	オンデマンド授業に伴う 成績評価方法（変更後）	備考
2	後期	必修	1.5	薬用天然物化学1	谷口		○		定期試験結果（90%）とレポート（10%）により評価する。ただし、評価を受けるには定期試験の得点が60%以上であることが必須です。	変更なし	
2	後期	必修	1.5	病原微生物学	駒野		○		定期試験の成績（90%以上）、授業中に随時行う小テストの成績（最大10%）、出席状況・講義中の態度（減点方式で評価）にて評価します。試験直前の学習だけでは到底不十分です。毎回の講義には十分の予習・復習をもって臨み、集中力をもって聴講してください。	変更なし	個別対応
4	後期	必修	1.5	臨床検査学	*中西		○		定期試験と授業参加状況より判断する。（試験90% 平常点10%）	変更なし	個別対応
4	後期	必修	1.5	生体分析化学（薬科学科）	佐藤				定期試験（90%）、平常点（10%）とする。	変更なし	個別対応